

◆有名私大総合

文系・理系にかかわらず、ありとあらゆる大学、学部、学科のAO・推薦入試に対応します。『活動記録報告書』『自己推薦書』『志望理由書』『課題レポート』など提出書類の作成は、単なる書類の添削ではありません。ポートフォリオ作成指導と進路発見特別指導の中から育まれた将来像を、各大学のアドミッションポリシーをふまえ、自己と向き合いながら書面に表現していくプロセス。この力は、大学入試に限らず、就職活動にも生きるはず。他大学の併願戦略をふまえ、複数の提出書類作成も行います。

◆慶應義塾大学<SFC AO入試・法学部FIT入試>

AO入試の最難関である慶應義塾大学。「独立自尊」の理念をベースに、各学部のアドミッションポリシーに沿って、欲しい人材を選抜するAO入試はまさにポートフォリオの集大成とそこから育まれた進路発見が求められます。慶應義塾大学とAO入試を知り尽くした講師とスタッフが、それぞれの学部内容と入試の違い、そして併願戦略に基づいた他大学の出願準備も視野に提出書類の作成を進めていきます。

◆早稲田大学<政治経済・社会科学部グローバル(AO)入試, 新思考入試, 社会科学部全国自己推薦, スポーツ科学部AO入試など>

今後、AO・推薦入試での入学を全定員の60%まで引き上げると明言している早稲田大学。一般入試の合格者数が毎年減り続けるのと反比例して、次々と新しいAO・推薦入試の方式を繰り出しています。2018年度導入したばかりの5学部(文・文化構想・商・人間科学・スポーツ科学)横断の「新思考入試」、2019年度から始まる社会科学部グローバル(AO)入試など、激変する早稲田大学のAO・推薦入試に対応します。

◆英語書類作成

早稲田大学国際教養学部AO入試と文化構想JCulpの2学部併願受験を想定し、他大学である立教大学GLAPや法政大学GIS、学習院大学国際社会科学部AO入試などを含めた提出書類作成も視野に入れ、セルフ・ブランディング力はもちろん、あなたのポートフォリオをどのように英語で表現するかを共に考え、その力を鍛えます。慶應義塾大学経済学部PEARL入試、早稲田大学政治経済学部(EDESSA) AO入試にも対応。

◆難関国公立文系

今年初登場の国公立大学文系に特化したAO・推薦入試特別指導。旧帝大を中心に、AO・推薦入試定員は増えつつあります。東北大学AO入試は514名、名古屋大学368名、大阪大学314名と、出願条件を満たしていれば、十分にチャンスが上げられます。地方国公立大学でも、伝統と経済界に存在感をもつ滋賀大学経済学部やデータサイエンス学部、オランダの名門ライデン大学留学必須の長崎大学多文化社会学部など、価値ある大学でもAO・推薦入試が積極的に導入されています。首都圏に限らず、全国の国公立大学を視野に入れ、進路発見指導に基づいた提出書類(志望理由書・自己推薦書・課題レポート・活動報告書など)の作成を進めていきます。

◆難関国公立・私立理工系

首都圏国公立・私立大学に限らず、全国の国公立大学を視野に入れ、理工系最先端の研究室・教授を求めて、自身の専門分野を深め、AO・推薦入試で求められる提出書類を作成します。早稲田塾の先輩たちは、北海道大学水産学部AO入試、岩手大学農学部推薦入試、東京工業大学第4類AO入試、千葉大学園芸学部AO入試、大阪大学基礎工学部世界適塾入試などを活用し、理料系の知識に加え、記述力、発想力、表現力など、将来の研究に役に立つ『一生モノ』の力をつけて現役合格を果たしています。

◆芸術・建築系

この講座では、『表現とは何か』『社会と芸術の関係とは』といったテーマに対して、歴史・思想・政治・経済などの視点を交え、求められる素養を身につけ、芸術学部系AO入試の提出書類を作成します。また建築系においても、早稲田塾は、早稲田大学創造理工学部建築学科AO入試(創成入試)で、塾・予備校界一の合格実績を誇ります。『建築・デザイン』を知り抜いた専門チームが、知識だけでなく、造形やデッサン・文章による表現力など、本物の実力を鍛えます。

◆医学・メディカル系

医学、歯学、薬学、看護、医療、獣医など、全てのメディカル系学科に対応。大学入試が職業選択とイコールになるのがメディカル系学科であるから、重要なのは正しい進路選択。この講座では、未来の医療人となるために必要な心構えを伝授。その構えが、AO・推薦入試への資質と適性を高めます。